

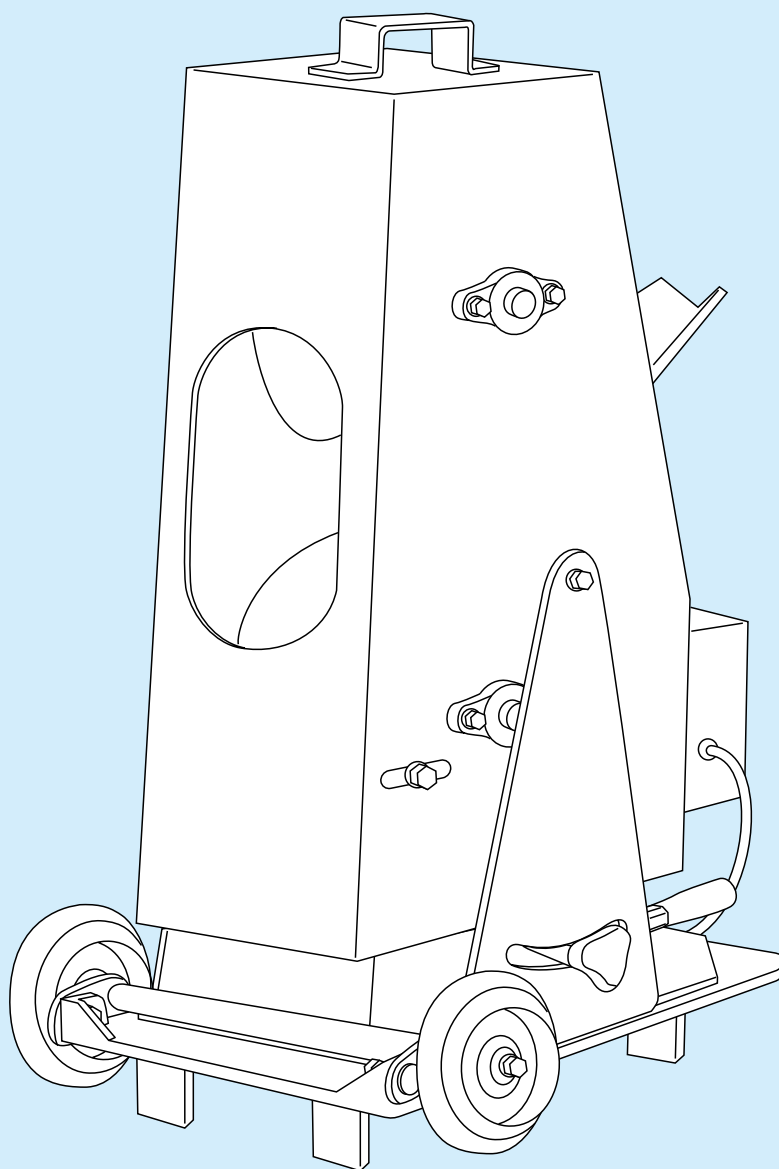
PERFECT COACH TYPE 6

パーフェクトコーチ 6型

取扱説明書 ■ご使用前に必ずお読みください。

型 式

2W100S



このたびは、弊社のピッチングマシンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- 事故や、マシンの故障を防ぐために、マシンの使用前に必ず、この取扱説明書を注意深く読み、よく理解した上で使用してください。
- この取扱説明書は将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

安全上のご注意 必ず守ってください

※本書はマシン使用者が、いつでも読めるところに必ず保管してください。

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

※このマシンはソフトボールの練習以外には使用しないでください。

※絵表示と意味は次のようになっています。

※図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



危険

取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示しています。



警告

取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容を示しています。



禁止の行為であることを告げるものです。



感電の恐れがあることを告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



守っていただくべき義務行為を示しています。



発火の可能性のあることを告げるものです。



危険



マシンの取扱いは、マシンの危険性をこの説明書でよく理解された方が行ってください。



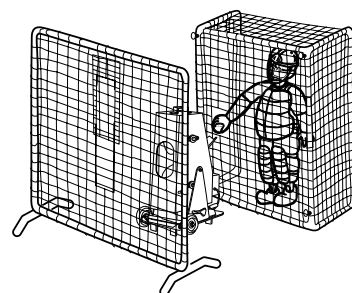
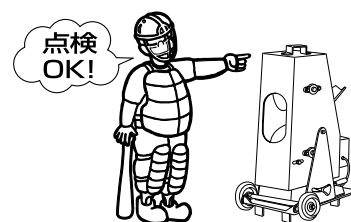
事故を防ぐ為にマシン使用前にはマシン本体（ホイール・シュート<ボール投入口>・リード線など）に異常がないか点検してください。



マシンを使用する時は、マシン前ネット・マシン打球者用保護ネット（オペレーター用ネット）を設置し、マシンを操作する人は安全の為に必ずヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を着用してください。複数の打席で、同時にバッティング練習するときには、他打席の打球にも十分注意してください。



破れたネットは打球が突き抜けてきて危険ですから、使用前に異常箇所が無い確認してください。



使用時の注意

⚠ 危険

⊘ マシン使用中にマシンの振動が大きくなったり、異音が出た場合は、直ちに電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜き、マシンの使用を中止してください。

❗ ホイールの使用期限は3年です。ご購入日より **3年経過したホイールは必ず交換してください**。ご購入日は、本体に貼付しているシールに表記しておりますのでご確認ください。ホイールは保管状況・使用頻度などにより寿命は変化いたします。

⊘ ホイールのゴムは日々劣化していきます。その為アルミ部とゴムとの接着強度も落ちていきます。古くなり劣化したホイール（ヒビ割れ、弾力性が劣るなどの症状が見られるホイール）は高速回転させると遠心力によりゴムが欠けて飛び大変危険ですので絶対に使用しないでください。

⊘ マシンは屋内で湿気やほこりの少ない場所に保管し、石灰と同じ場所には保管しないでください。石灰は空気中の水分を集めると同時に強いアルカリ性でホイールの表面を溶かし寿命を縮める大きな原因になります。またマシンには、石灰の付いたボールは、絶対に使用しないでください。ホイールに石灰が付着し寿命を縮める原因となります。ホイールは保管状況・使用頻度により寿命は変化いたします。

⊘ 球速やコントロールの調整時は大変危険ですからキャッチャー、バッターは定位置に付かないでください。

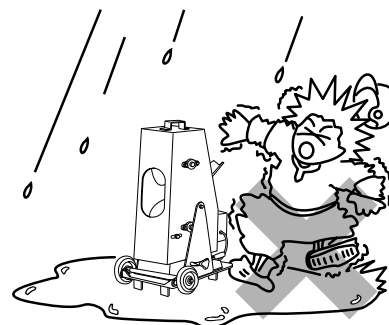
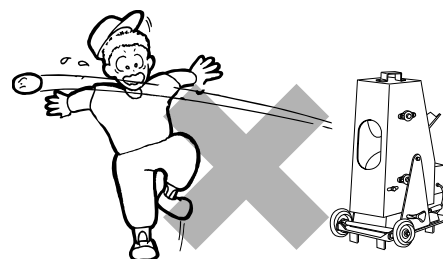
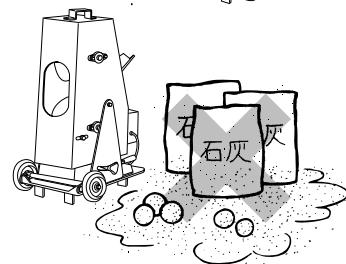
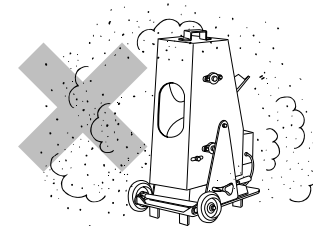
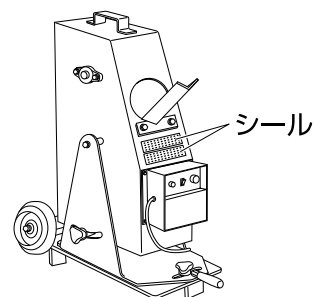
⊘ マシン運転中は、危険ですから絶対にマシンの前を横切らないようにしてください。

❗ ボール投入時には、必ず声を出してバッターに合図をしてください。

⊘ 回転しているホイールには、絶対に触れないでください。

⚡ 雨の日は、絶対にマシンやコードリールを使用しないでください。また、マシンやコードリールは水などで濡らさないように注意してください。
濡れた手で電源プラグに触ると感電の危険性があります。

⊘ マシンに表示されているボール以外は使用しないでください。ボールのスピードが変わり、コントロールが定まらなかったり、ボールの種類によってはホイールの損傷にもつながり大変危険です。



安全上のご注意 ⚠️ 必ず守ってください

⚠️ 警 告

❗ マシンの前には、マシン前ネットのネット部をマシン側に軽く押して、マシンに接触しない間隔をあけて設置し動かないように固定してください。特に古くなりたるんだネットやロープが切れてぶらさがっているネットは、修復して使用してください。ホイール（回転物）に巻き込む恐れがあり大変危険です。

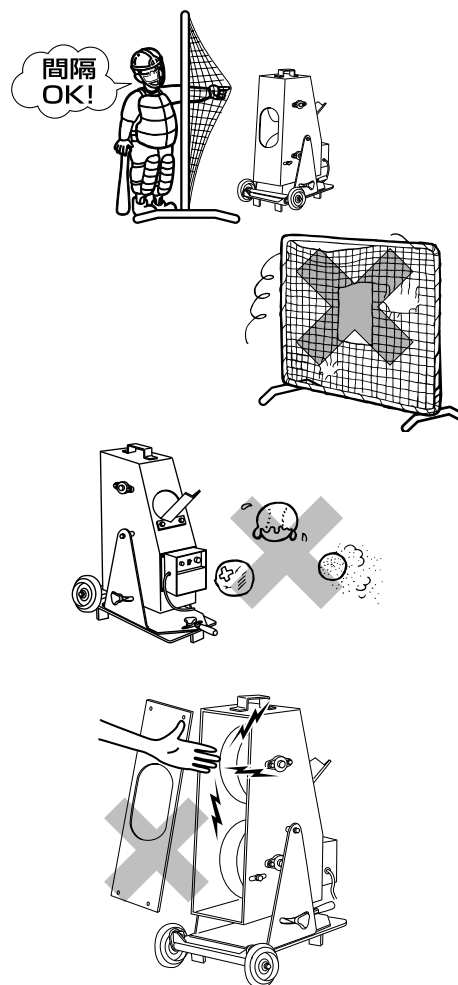
⚡ アースを接続しないと感電する恐れがありますので、アースは必ず接続して使用してください。

❗ マシン使用中は、マシンの周辺及び使用範囲（ボールが届くと思われる範囲）には、関係者以外近づけないようにしてください。

⊘ 革や糸が切れているボール、変形しているボールなど、傷みのひどいボールは使用しないでください。ボールがスリップして予想外の方向に飛ぶ恐れがあり大変危険です。

⊘ マシンは絶対に分解しないでください。特に前カバーを外しての使用は大変危険です。

⊘ 弊社指定部品以外の部品は使用しないでください。



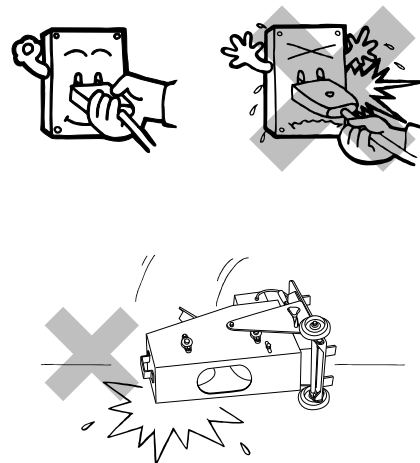
⚠️ 注 意

🔌 電源プラグは、必ず根元を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になり、大変危険です。

❗ 電源スイッチを OFF にしてもホイール（回転物）はすぐに止まりませんので、完全にホイール（回転物）が静止するまで触れないでください。

❗ マシンの移動は電源スイッチを OFF にしホイールの回転が完全に静止したのを確認してから転倒しないように注意して移動させてください。

※グラウンドはぬかるんだりして転倒につながる可能性が多々ありますので注意してください。

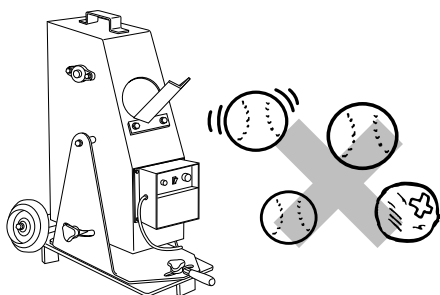


使用時の注意

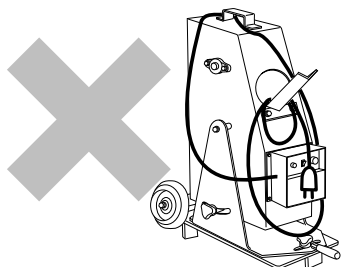


注 意

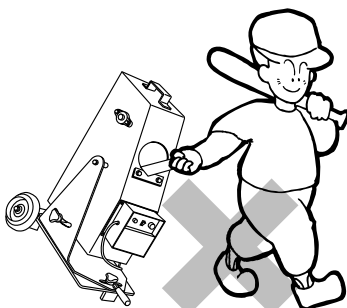
- ❗ 硬さの一定しないボール・大きさの異なるボール・傷みのひどいボール、また、これらをまぜて使用すると、コントロールが悪くなります。更に、ホイールの損傷の原因にもなりますので、注意してください。



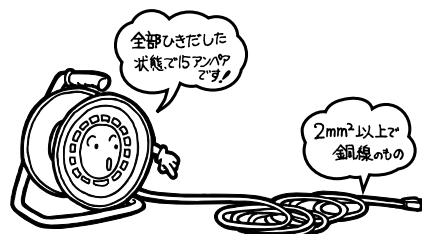
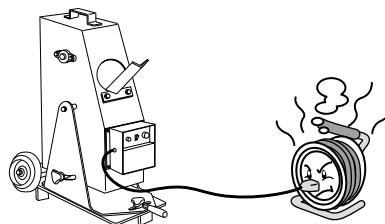
- ❗ マシン本体を、垂直方向、水平方向に回転させる場合、リード線をマシンにからませないようにしてください。



- ⊘ シュートを持ってマシンを移動させないでください。ボールをはさむ位置がずれ、コントロールが悪くなります。また、破損・故障の原因になります。

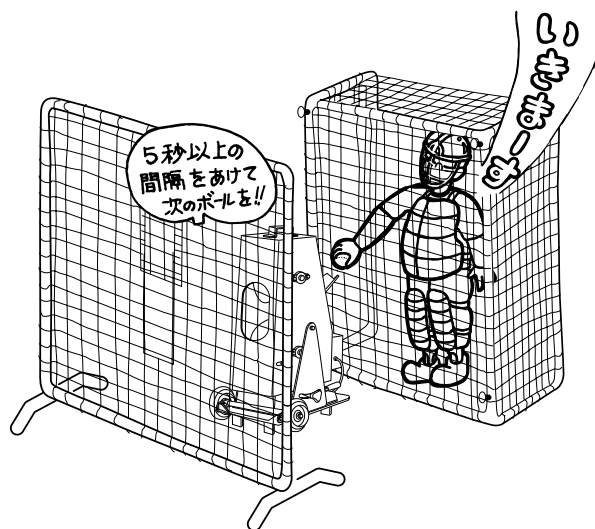


- ❗ コードリールのコードは全部引き出して使用してください。
巻いたまま使用すると、コードが発熱し、被覆が溶けてショートすることがあり大変危険です。(燃える事もあります。)



コンセント仕様：2P・15A・125V
電 線 仕 様：VCT2.0mm² × 2

- ⊘ スピード調整直後、また、5秒間隔以下ではボールを投入しないでください。コントロールが悪くなる恐れがあります。必ず5秒以上の間隔をあけてください。



マシーンの特長

- ① ホイール式により、コントロールが良く、ボールにスピンを強制的にかけるため、のびのある生きたストレートボールが投球できます。
- ② 特殊成型ゴムホイール使用で、ホイールとボールのスリップが減少し、従来のマシンに比べ大変コントロールが良くなり、ボールの減りも少なくなりました。
- ③ コンパクトで取り扱いが容易です。

マシンが到着したら

- ① 到着したマシンが、注文された商品であることを確認してください。
〈品番・使用電圧・使用球など〉
- ❗ 到着したマシンが、運送途中、その他のトラブルなどで損傷、破損している箇所がないか慎重に点検・確認してください。万一、損傷・破損が認められた場合は、運送会社もしくは、購入先の販売店まで至急ご連絡ください。この場合は、マシンを絶対に使用しないでください。事故や破損部の拡大の原因になります。また、運送保険の適用を受けることができなくなります。
- ② マシンの到着より点検、確認、連絡まで5日以上経過していますと、運送途中のトラブルが原因の修理に対して運送保険の適用が受けられなくなり、有料になる場合がありますので予めご了承ください。

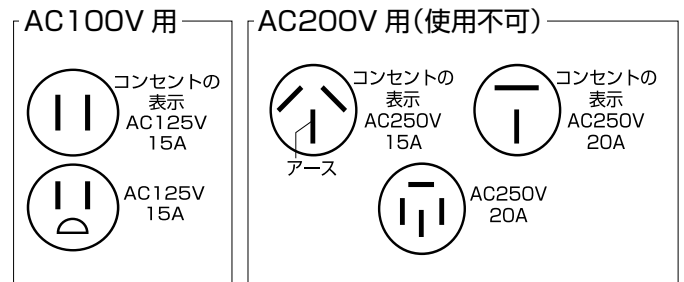
もくじ

安全上のご注意	1
マシーンの特長	5
マシンが到着したら	5
もくじ	5
マシン使用前に確認し ていただきたいこと	6
各部の名称	7
マシンの使用手順	8
マシン及び防球ネット の活用例	11
ボールについて	12
各部の点検及び調整方法	13
トラブルシューティング	15
警告シールについて(一覧)	18
仕様	19
消耗品について	19
アフターサービスについて	20

マシン使用前に確認していただきたいこと

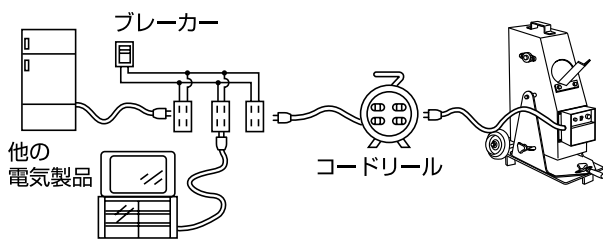
- ① マシンに使用するコンセントの形状を確認してください。
- ② マシンに使用するコンセントに流れている電圧をテスターで実測してください。
- ③ 使用するコンセントを変更する場合も同様に実測してください。
- ④ この商品は**AC100V専用**です。コントローラボックスが破損しますので**AC200Vでは絶対に使用しないでください**。
- ⑤ マシンに使用するコンセントは、**単独回路 (20A)** で使用してください。
下図に示すような状態で使用した場合は、ブレーカーが落ちることがあります。

【代表例】



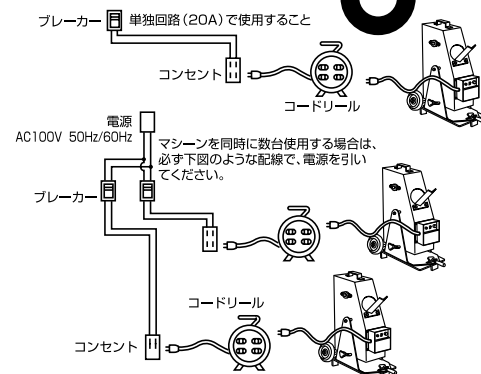
コンセントの表示又は型式により電圧を自己判断するのは危険です。必ずしもコンセントの形状に合った電圧がきているとは限りません。テスターにより、電圧を実測してください。

●誤った使用例



- ① マシンに使用するコンセントのブレーカーは**20A (アンペア)** を使用してください。
- ② マシン使用前には、必ず、リード線に傷などが入っていないことを確認してください。万一、被覆に傷があり、銅線が見えている場合は、使用しないでください。
- ③ コードリールを使用する際、マシンからコンセントまで距離が短い場合でも、**コードは必ず全部引き出して**ください。
- ④ コードリールの、全巻時の**最大定格電流は 7A** です。全て引き出したときに、**定格電流は 15A** になります。(100V・50m・15A 用)
- ⑤ 電源に発電機を利用する場合は、**2.3kw 以上** の商品を使用してください。

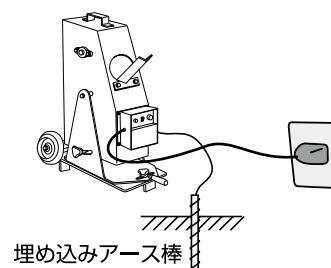
●正しい使用例



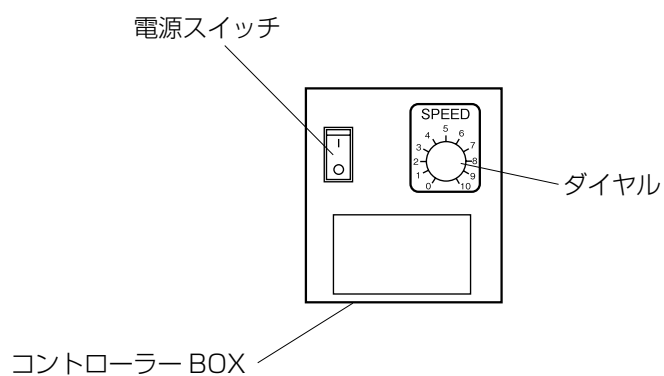
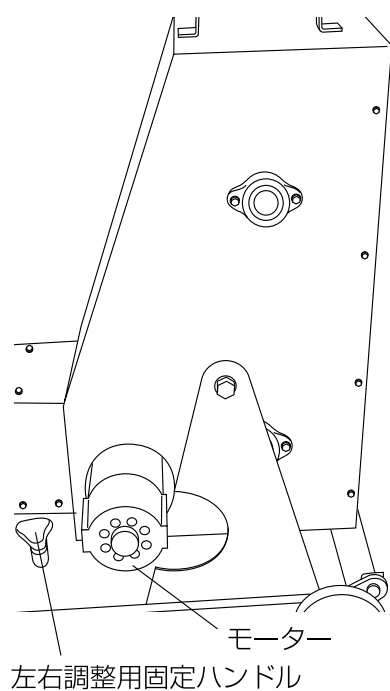
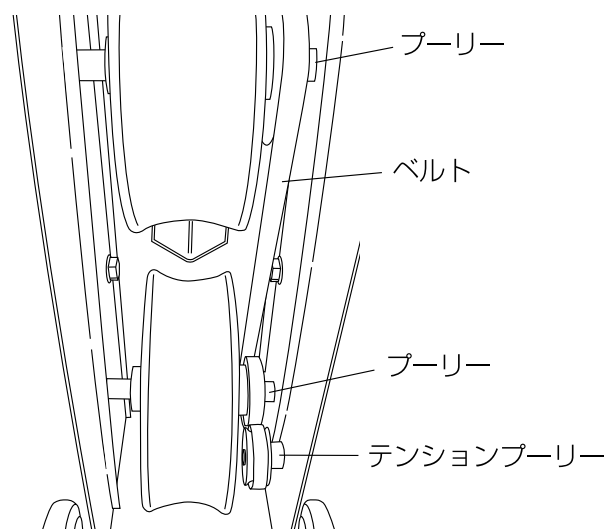
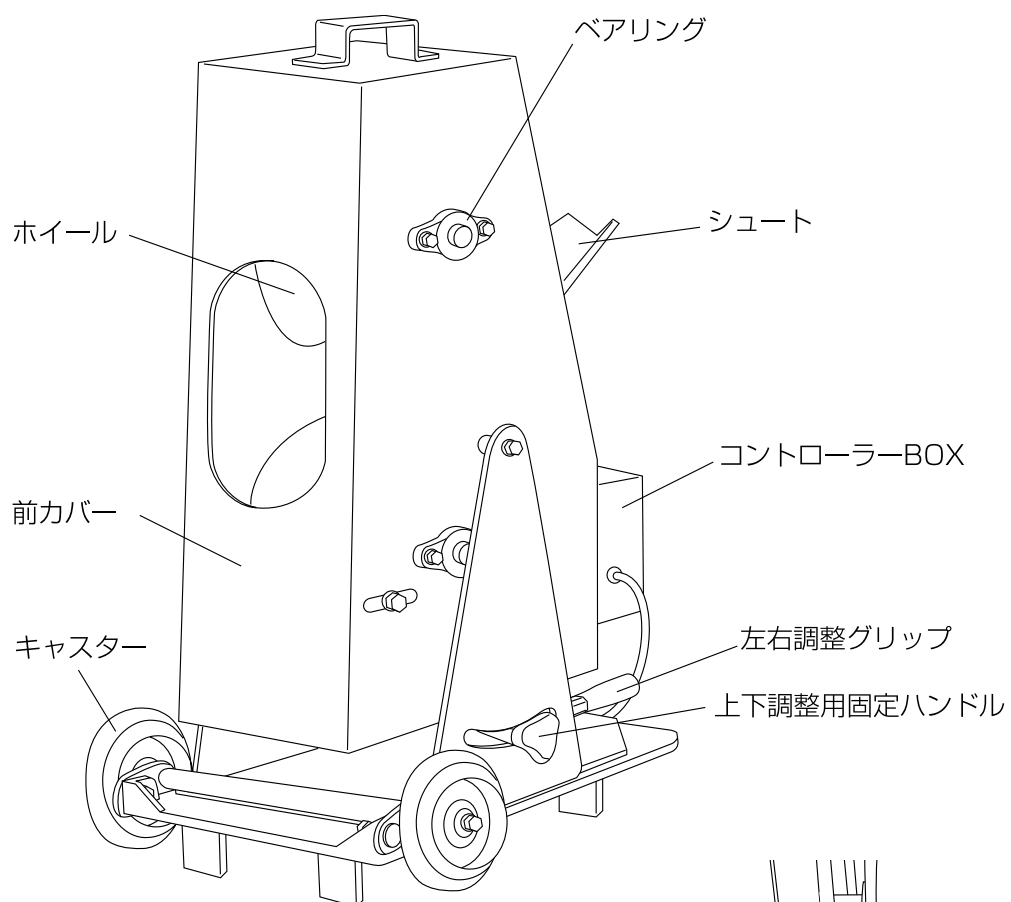
注) 20A (アンペア) 以下のブレーカーを使用すると、マシンの電源スイッチを ON にし、速度を上げる途中でブレーカーが落ちる場合があります。(容量不足)

注) コードリールは全巻時 7A を超過した場合コードが発熱し、被覆が溶けてショートして燃えることがあります。大変危険です。

- コードリールはプラグ 1 つで 15A 以下か、または 4 つのプラグ合計が 15A 以下で使用してください。



各部の名称

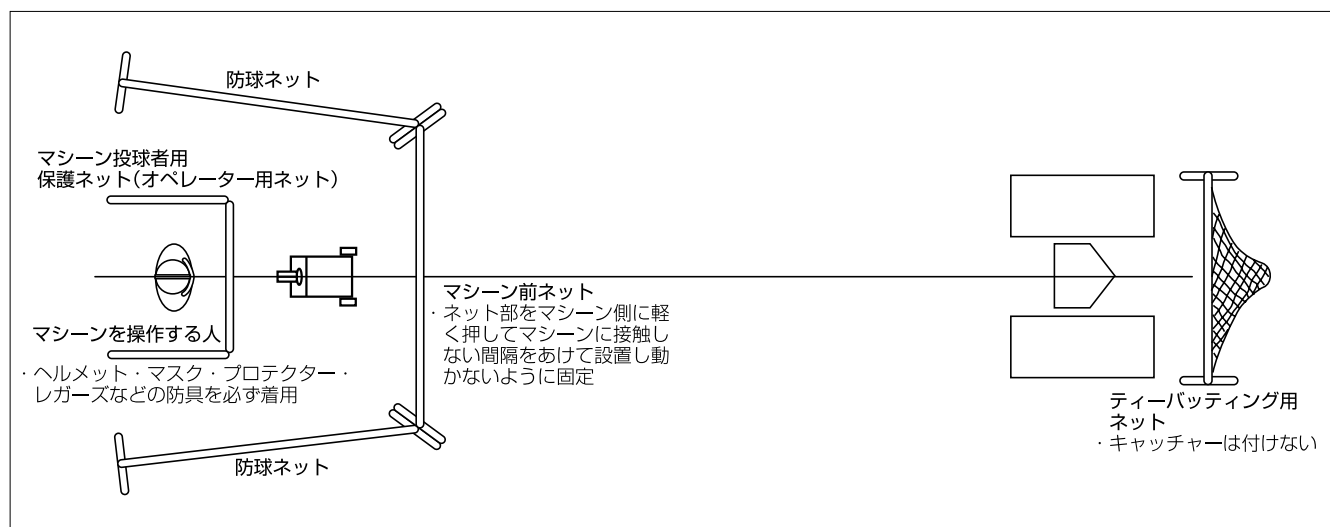


マシンの使用手順

❶「安全上のご注意」(P. 1～4)をよく読んで使用してください。

❷電源に発電機をご使用の場合は、**発電機の取扱説明書をお読みの上操作**してください。

❸マシンとホームベースの関係、及びマシン前ネット・ティーバッティング(トスバッティング)用ネット・マシン投球者用保護ネット(オペレーター用ネット)を下図の要領で配置してください。**(安全を考え配置してください)**また、投球者はヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を必ず着用してください。



❶ マシンを使用位置に移動させマシンを設置し、キャスターを上跳ね上げ、本体を固定します。

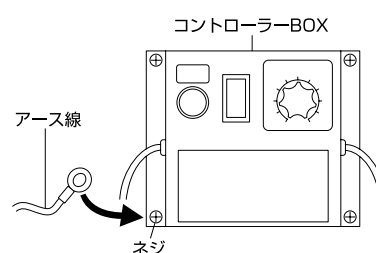
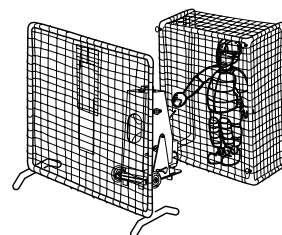
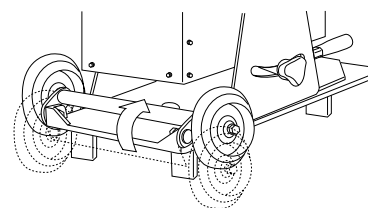
❷ マシン前ネット・マシン投球者用保護ネット(オペレーター用ネット)を設置し、マシンを使用する人は安全の為に必ずヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を使用してください。

❸ マシン本体や使用するネットに異常箇所がないか点検してください。特にホイールは高速回転しますので、ハガレ・キズ・裂け目の有無やアルミ部にヒビ割れ・ブレがないか確認してください。

❹ コードリールを全て引き出し、マシンの横で打球の当たらないところに設置します。

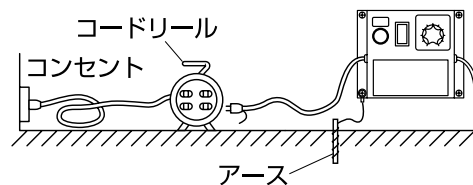
❺ 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、アースを接地した後、電源プラグをコンセントに接続します。

※はじめてご使用される場合には、付属のアース線をコントローラーBOXの左下のネジをゆるめて、アース線の丸い端子の方をはさみ、ネジを締めつけてください。



マシンの使用手順

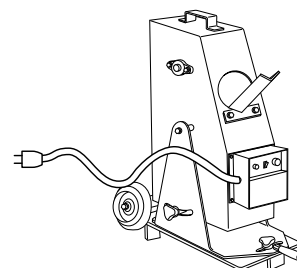
- ⑥ 速度調整用ダイヤルが0になっていることを確認し、ホイールなどの回転部に接触物がないか確認の上、電源スイッチをONにします。



⚠ 注意 速度調整用ダイヤルが0以外の位置になったままの状態では電源スイッチをONにするとブレーカーが落ちる場合があります。また、モーターやコントローラーの故障や寿命を縮める原因になります。

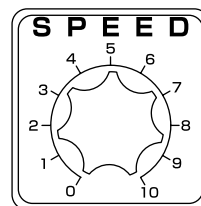
- ⑦ 速度調整用ダイヤルをゆっくり回して、マシンの振動が大きかったり、異音が生じていないか確認してください。

※マシン使用中に振動が大きくなったり、異音が生じた場合は直ちにマシンの使用を中止してください。



- ⑧ 速度調整用ダイヤルを使用する球速にあわせて設定してください。

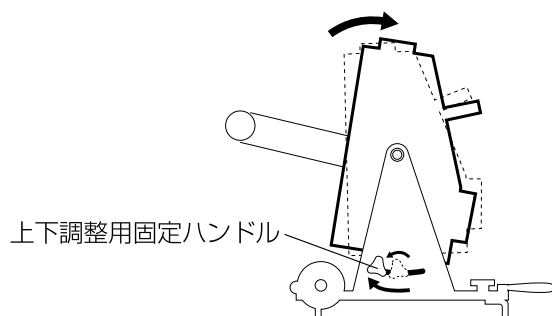
(例)速度調整用ダイヤル



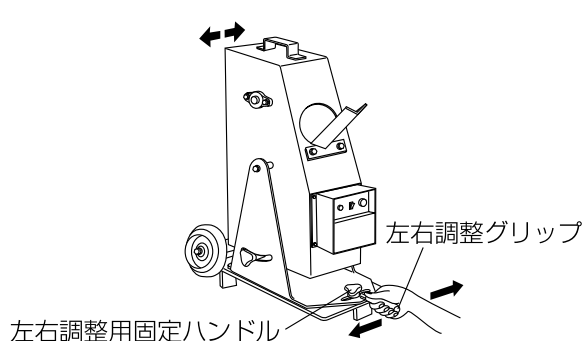
- ⑨ 設定が出来ましたら、マシン付近やバッテリーボックスに人がいないことを確認の上、必ず声をだし合図をしながら試投してください。

- ⑩ コントロールの確認をしていきます。
ボールが上下にずれている場合は上下調整用固定ハンドルをゆるめ、本体の角度を上下方向に移動させます。角度が決まれば上下調整用固定ハンドルを締め付けます。ボールが左右にずれている場合は左右調整用固定ハンドルをゆるめ、左右調整グリップを左右方向に移動させます。角度が決まれば左右調整用固定ハンドルを締め付けます。

【ボールが上下にずれている場合】



【ボールが左右にずれている場合】



マシンの使用手順

- Ⅲ 試投が終わりましたら、再度、安全に注意をして使用してください。

※速度調整用ダイヤルを再調整したあとは必ず試投してコントロールの確認をしてください。
試投の際は必ずバッター・キャッチャーはバッターボックス付近に近づかないでください。

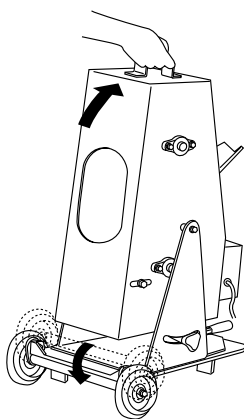
⚠ 注意 マシンのホイールの回転数はホイールが回転をはじめた時より約 15 ～ 20 分間で約 200 ～ 300 回転上昇します。これはベルト・ベアリングなどが使用開始時よりあたたまり負荷が軽くなる為で異常ではありません。試投時よりボールの速度が上がります。

- Ⅳ マシンの使用が終了したら、速度調整用ダイヤルを必ず「0」に戻してから電源スイッチを OFF にしてください。

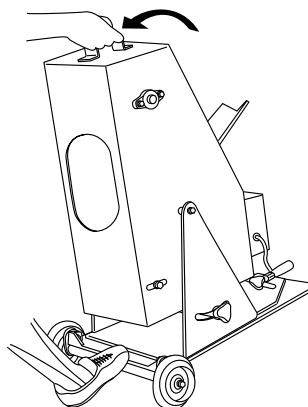
※電源スイッチを OFF にしてもホイール（回転物）はすぐには止まりませんので完全にホイール（回転物）が静止するまでは触れないでください。

- Ⅴ 電源プラグをコンセントより抜き、アースを外します。

- Ⅵ ホイールが完全に止まってから、転倒しないように注意して移動させてください。
片足でマシンを軽くささえ、【図-1】のようにマシンをかたむけ、キャスターを降ろし【図-2】のように引いて移動してください。移動の際、左右調整グリップや、シュートを持ってマシンを持ち上げたり、引いたり、押したりすると故障の原因になりますので特に注意してください。

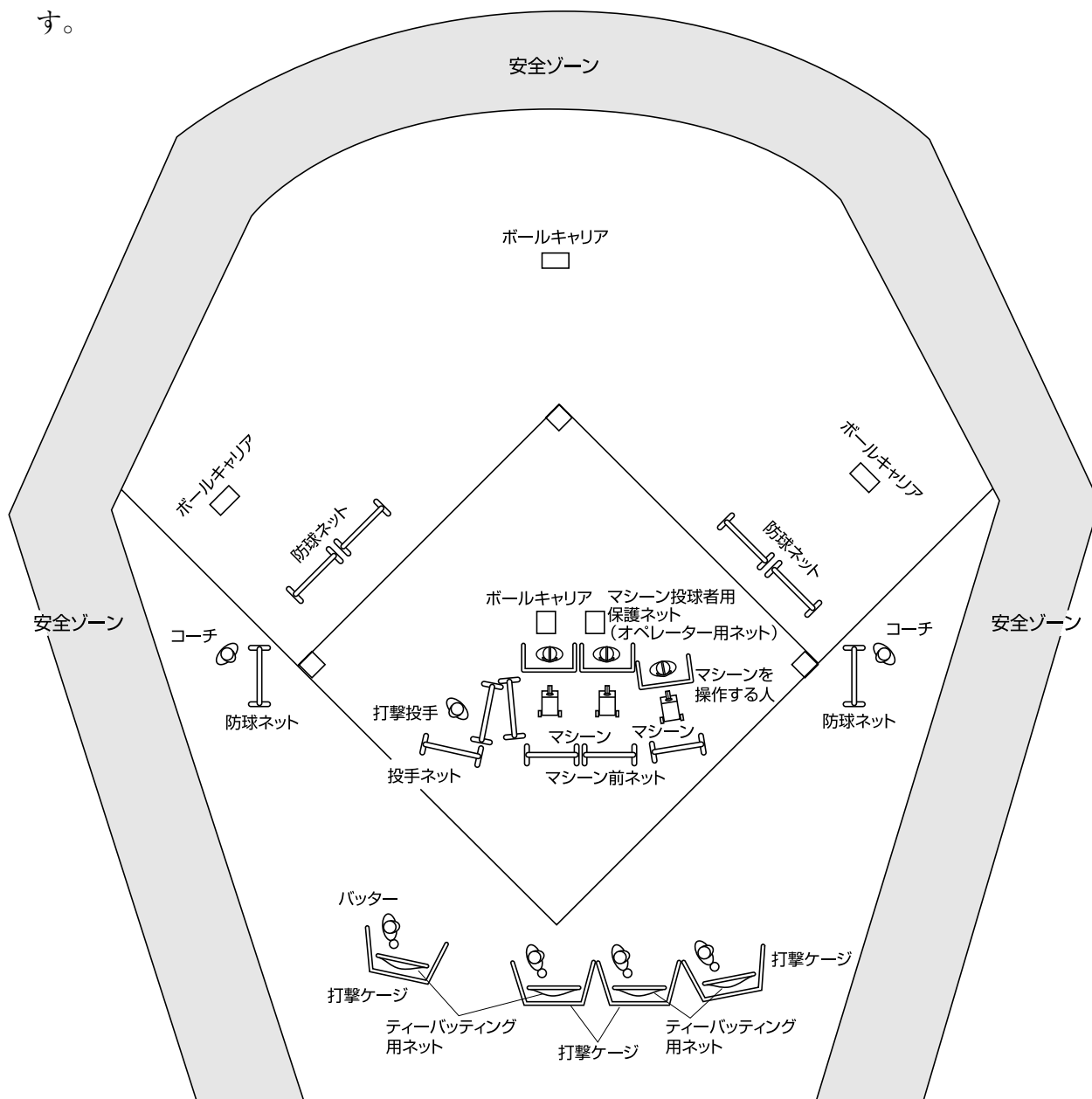


【図-1】



【図-2】

例 マシンを使用して打撃練習をする場合。



ボールについて

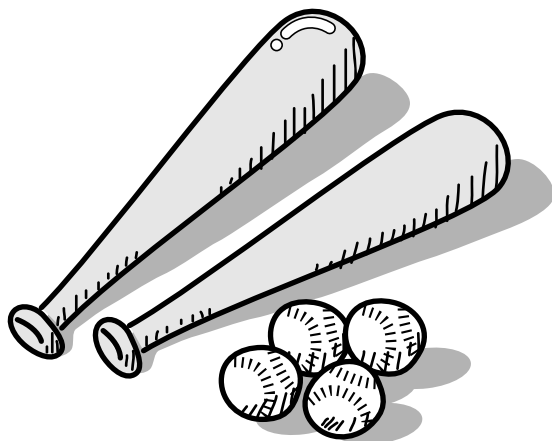
- ① マシンに表示されているボール以外は絶対に使用しないでください。球速が変わり、コントロールが定まらなかったり、ボールの種類によっては部品の損傷にもつながり大変危険です。
- ② よりよいコントロールを得るために、同じメーカー及び同程度の使用頻度のものを使用してください。

革・革イエロー仕様について

- ① 糸切れ・革切れ・革の浮いているもの・濡れたもの・水を含んで重たいものなどは絶対に使用しないでください。コントロールが悪くなり大変危険です。また、部品損傷の原因となります。

ゴム1号・2号・3号仕様について

- ① 極度に擦り減ったもの・濡れたものなどは絶対に使用しないでください。コントロールが悪くなり大変危険です。



各部の点検及び調整方法

※マシンをよく理解された方が行ってください。

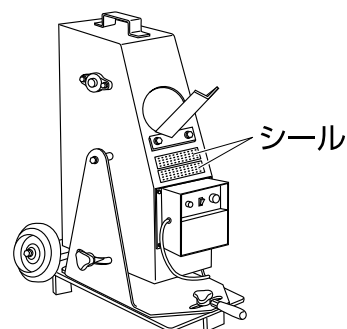
ホイールについて

① ホイールの**使用期限は3年**です。ご購入日より3年経過したホイールは必ず交換してください。ご購入日は本体に貼付しているシールに表記しておりますのでご確認ください。ホイールは保管状況・使用頻度により寿命は変化いたします。

② ホイールのゴムは日々劣化していきます。その為アルミ部とゴムとの接着強度も落ちていきます。古くなり劣化したホイール（ヒビ割れ・弾力性が劣るなどの症状が見られるホイール）は高速回転させると遠心力によりゴムが欠けて飛び大変危険ですので絶対に使用しないでください。

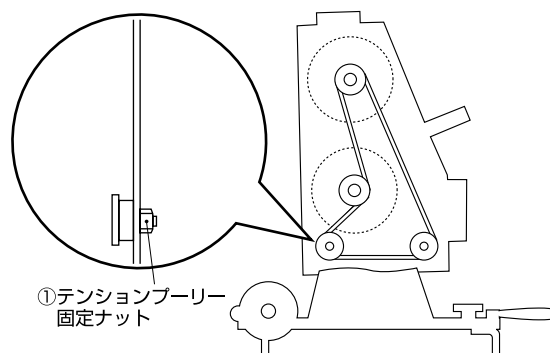
③ マシンは屋内で湿気やほこりの少ない場所に保管し、石灰と同じ場所には保管しないでください。石灰は空気中の水分を集めると同時に強いアルカリ性でホイールの表面を溶かし寿命を縮める大きな原因になります。またマシンには、石灰の付いたボールは、絶対に使用しないでください。ホイールに石灰が付着し寿命を縮める原因となります。ホイールは保管状況・使用頻度により寿命は変化いたします。

④ マシン使用前には、マシン本体（ホイール）に異常がないか点検してください。ホイールは高速回転しますので、ハガレ、キズ、裂け目などの有無や、アルミ部にヒビ割れ、ブレがないか確認してください。



ベルトの張り方

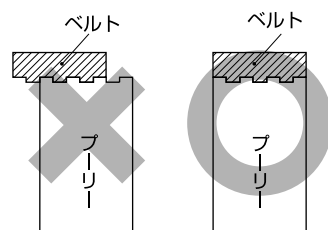
- ① 電源スイッチをOFFにして、完全にホイールが静止した事を確認し、マシンの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 前カバーを取り外します。
- ③ ①のナットをゆるめます。【図-3】
- ④ ナット部を軽くたたきベルトがピンと張った所で締め付けま。
- ⑤ このときプーリーに溝が切ってありますのでプーリーの溝にベルトの溝がきちんとはまっていることを確認してください。【図-4】
- ⑥ 前カバーを取り付けます。



【図-3】



ベルトを軽く押して弾力が感じられる程度に張ってください。ベルトを張りすぎると、モーターに負担がかかり故障することがありますので注意してください。



【図-4】

各部の点検及び調整方法 ※マシーンをよく理解された方が行ってください。

モーターのカーボンブラシ点検及び交換方法

! モーターのカーボンブラシを規定量以上使用すると、モーターのカーボン接触面に傷が入り、新しいカーボンブラシと取り替えても、短時間で消耗してしまうようになりますので、点検は必ず定期的に行ってください。（この場合モーター交換となります。）〈有料〉
※マシーン本体に、使用開始日を記入しておくとう便利です。

●点検及び交換

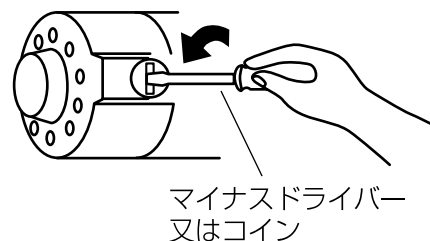
- ① 電源スイッチを OFF にして、完全にホイールが静止したことを確認し、マシーンの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② モーターのおしり部分のカーボンブラシ取替口（プラスチック製の黒キャップ）が2カ所あります。
- ③ プラスチック製のキャップをマイナスドライバーで左側に回すとキャップが外れます。【図-5】

※この時、プラスチック製のキャップを割らないように、注意してください。

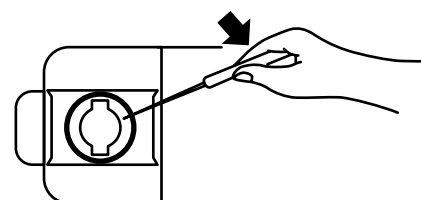
- ④ キャップが外れましたら、先のとがったもので【図-6】のように、矢印の方向に引き出すと、中からカーボンブラシが出てきます。（周囲のプラスチックを割らないように、注意してください。）

- モーターのカーボンブラシは、新品で12mmあります。これが約半分（6mm）になりましたら交換してください。【図-7】

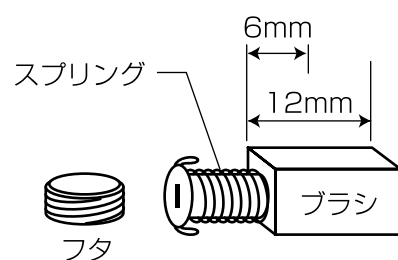
モーターのカーボンブラシは、販売店にお申し付けください。この場合は有料になります。



【図-5】



【図-6】



【図-7】

トラブルシューティング

故障と思う前に確認していただきたいこと

※マシンに異常が発生したら使用しないでください

●発電機を使用……速度が出ない

- 原因 発電機の容量不足が考えられます。
- 調査 マシンを家庭用電源で使用してみてください。
- 処置 2.3kw 以上の容量の商品を使用してください。

●マシンの電源スイッチを ON にしても作動しない

- 原因 ①コードリールの不良、もしくは電源のブレーカーが落ちている。
- ②発電機の故障、もしくは発電機のブレーカー（ヒューズ）が切れている。
- ③マシンのモーターのカーボンブラシが消耗、もしくはカーボンブラシ部での接触不良。
- ④マシンのリード線の断線。
- ⑤コントローラーの内部破損（導通不良）が考えられます。

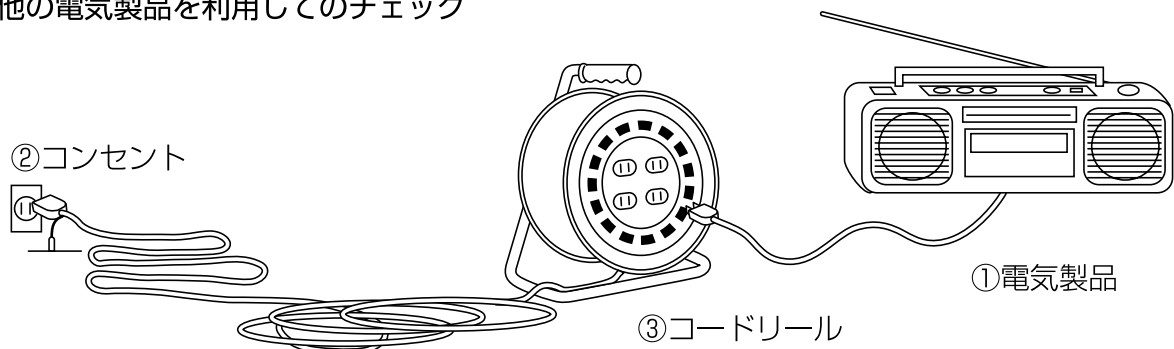
- 調査 ①については、テスターを使って調べるか、【図-8】のようにしてチェックしてください。
- ②については、発電機のブレーカー（ヒューズ）を点検してください。
- ③については、モーターのカーボンブラシを両側とも一度取り出し、入れなおしてください。

●方法 「モーターのカーボンブラシ点検及び交換方法」(P. 14) を参照してください。

- 調査 ④については、リード線にキズや銅線が見えていないか調べてください。

●処置 ①～④以外の場合は、販売店にお申し付けください。

●他の電気製品を利用してのチェック



①はコンセントからは作動するが、①と②のコンセント間に③コードリールを使うと作動しない。この場合は③コードリールの故障です。

【図-8】

トラブルシューティング

故障と思う前に確認していただきたいこと

●電源スイッチが ON の状態でホイールが回転したり、しなかったりする

-  原因 ①モーターのカーボンブラシがきっちり入っていない。
②リード線が接触不良、または断線している。

-  調査 ①については、モーターのカーボンブラシを2カ所とも一度取り出し、入れ直してください。「モーターのカーボンブラシ点検及び交換方法」(P. 14)を参照してください。
②については、新しいリード線に交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

●コントロールが悪く、スピードが不安定で、ボールがホームベースまで届かなかったりすることがある。

-  原因 ①ホイールの使用期限が過ぎている。
②ホイールにハガレ・キズ・裂け目などの有無やアルミ部にヒビ割れ・ブレがある。
③ホイールが摩耗して、ホイールとホイールの間隔が広くなり、ボールがスリップしている。
④ボールの種類などを替えている。
⑤コントロールが安定しない時は、ベルトがのびて、プーリーとの間でスリップしていることがあります。

-  処置 ①・②については、ホイールの取り替え〈工場修理〉(有料)になります。
③については、ホイールの取り替えもしくはホイール間隔の調整が必要です。〈工場修理〉(有料)
④については、「ボールについて」(P. 12)の項を再度確認してください。
⑤については、ベルトの張り方(P. 13)を参照してください。

トラブルシューティング

故障と思う前に確認していただきたいこと

●電源スイッチを入るとブレーカーが落ちる。



原因 ①マシンの速度調整用ダイヤルが高速になっている。

②同じブレーカーから、複数の電気製品を使用している。



処置 ①マシンの速度調整用ダイヤルを0の位置にして電源スイッチをONにして、ゆっくりと速度調整用ダイヤルをあげる。

②「マシン使用前に確認していただきたいこと」(P.6)を再確認してください。

●モーターの廻っている音はするが、ホイールが回転しない。



原因 ①ベルトが外れている。

②ベルトが切れている。



調査 ③ベルトを張りすぎた為によるモーターの故障などが考えられます。



処置 ①・②の場合共、マシン本体の前カバーを外して調べてください。

②については、ベルトの取り替え〈有料〉になります。

③については、モーターの取り替え（工場修理）〈有料〉になります。

●マシン使用時に変な音がする。



原因 ①ホイールが劣化し、ゴム・ウレタンにハガレ・キズ・裂け目などができている。

②ホイール軸のベアリングが悪くなっている。

③ベルトがゆるんでいる為に音がする。



調査 ①マシンの使用を中止し、ホイールにハガレ・キズ・裂け目などがいないか確認する。

②ホイールを片方ずつゆっくり回転させ、左右どちらから音が出ているかを確認してください。

③マシン本体の前カバーをはずし、ベルトの張りを確認する。



処置 ①についてはホイールの取り替え（工場修理）〈有料〉になります。

②についてはベアリングの取り替え（工場修理）〈有料〉になります。

③については、ベルトの取り替え（工場修理）〈有料〉になります。

警告シールについて（一覧）

製造番号	No.
製造年月	20 年 月

株式会社 トーアスポーツマシーン
BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES
 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目6番12号
 製造元 電話 大阪 (06) 6552-8247 (代表)

このホイルの **使用期限は3年**です。ご購入日より**3年**経過したホイルは必ず**交換**してください。
 ご購入日 年 月 日

品番

△ 注 意
 移動の際には、必ずこの部分を持って移動させてください。

注意
 （マシンのトラブルを未然に防ぐための注意）
投球間隔……5秒以上開けること
 マシンへのボールの投入は、最低5秒以上の間隔を保ってください。
 5秒以内にボールを投入すると、ホイルが正常回転に復帰しない状態で、次のボールを投球する為、コントローラに極度な負担がかかり、マシンの故障原因になります。又、ボールのスピードも安定しなくなります。

**ソフトボール
3号球専用**
 △表示されているボール以外は使用しないでください。大変危険です。

（使用球により異なります。）

安全上のご注意 △ 必ず守ってください

△ 危険 ピッチングマシンご使用前の注意

- ① 事故を防ぐ為にマシン使用前には必ず取扱説明書を読み安全な使用方法を十分に理解した上でご使用ください。
- ① 事故を防ぐ為にマシン使用前にはマシン本体に異常がないか点検してください。特にホイルは高速回転しますのでハガレ・キズ・裂け目等の有無やアルミにヒビ・ブレがないか確認してください。
- ① ホイルの使用期限は3年です。ご購入日より3年経過したホイルは必ず交換してください。ご購入日は、ホイルの内側に貼付しているシールをご確認ください。ホイルは保管状況・使用頻度等により寿命は変化します。
- ① ホイルのゴム・ウレタンは日々劣化していきます。その為アルミとゴム・ウレタンとの接着強度も落ちていきます。古くなり劣化したホイル（ヒビ割れ、弾力性が落ちるなどの症状が見られるホイル）を高速回転させると遠心力によりゴム・ウレタンが欠けて飛び大変危険ですので絶対に使用しないでください。
- ① 破れたネットは打球が突き抜けてきて危険ですから、使用前に異常箇所が無いか確認してください。

* AC100V 専用

安全上のご注意 △ 必ず守ってください

△ 危険 ピッチングマシンご使用中の注意

- ① マシンを使用する時はマシン前ネット・マシン投球者用保護ネット（オペレーター用ネット）を設置し、マシンを操作する人は安全のために必ずヘルメット・マスク・プロテクター・レガース等の防具を着用してください。
- ① マシン使用中にマシンの振動が大きくなったり、異音が出た場合は、直ちにマシンの使用を中止してください。
- ① 試投中はキャッチャー・バッターがバッターボックスに近づかないようにしてください。また使用中は危険ですから絶対にマシンの前を横切らないでください。
- ① 回転しているホイル部には絶対に手を触れないでください。
- ① マシンへのボールの投入は必ず一人で行ってください。ボール投入時は、必ず声を出し、手を上げて合図し、5秒以上の間隔をあけて投球してください。
- ① マシン前ネットはマシン本体に近づけすぎないように設置してください。（ネットを巻き込む恐れがあります）
- ① 野球・ソフトボールの練習以外には使用しないでください。

△ 注 意

やけどのおそれあり
さわるな

△ 注 意



回転物注意
カバーを外しての使用禁止!

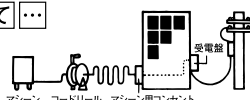
マシンは屋内で湿気やほこりの少ない場所に保管してください。また、石灰と同じ場所には保管しないでください。石灰は空気中の水分を集めると同時に強いアルカリ性でホイル表面を溶かし寿命を縮める大きな原因になります。特に、石灰のついたボールは絶対に使用しないでください。ホイルは保管状況・使用頻度などにより寿命が変化いたします。

注意事項 漏電による感電を防ぐために…

- 必ずアースを接続してください。
- マシンを濡らさないよう願います。
- 雨が降り始めましたら、直ちに使用を中止してマシンを濡らさないような処置をしてください。

電気配線について…

電気配線が長すぎる場合や、コードがドラムに巻かれた状態のままの使用は、電圧低下をまねき、ピッチングのスピードダウンの原因になります。このような場合は、電気工事店にご相談ください。電気配線はできるだけ短く、コードリールは伸ばして配線してください。（詳しくは電気工事店にご相談ください）



マシン本体に貼ってあるシールがはがれたり、消えたりした場合は、すぐに販売店に連絡してください。

また、ここに掲載されているシールは、実物大とは異なりますので予めご了承ください。

仕 様

ピッチング速度	60 ～ 100km/h
用 途 分 類	ゴムボール 1 号・2 号・3 号、革ボール、革イエローボール
使 用 電 源	AC100V, 50/60Hz
電 動 機	DC モーター 177W × 1 台
定 格 電 流	3.4A
寸 法	たて 64cm ×よこ 34cm ×高さ 62cm
投 球 口 高 さ	約 35cm
本 体 総 質 量	約 29kg

消耗部品について

下記部品は消耗部品となっておりますので、交換が必要となっております。

●ホイール

ホイールの使用期限は3年です。ご購入日より3年経過したホイールは必ず交換してください。
ホイールの交換は工場修理（有料）になります。

●カーボンブラシ

※モーター 1 台につきカーボンブラシ 2 ケ使用。

アフターサービスについて

このパーフェクトコーチ 6 型には保証書を別途添付してあります。

●保証書について

保証書は販売店でお渡ししますから、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●修理を依頼されるとき

●保証期間中は

保証期間中に修理をお受けになる場合は、恐れ入りますがお買い上げの販売店にご相談ください。
※保証期間中でも、有料修理になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間を過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。
修理により、商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

●サービスをご依頼される前に

この説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

その際、製品番号（商品名）、および品番、故障内容を詳しくお申し付けください。

●操作及び取り扱いミスによるマシンの故障・損傷は保証外になりますのでご注意ください。

●ホイールの（再製）修理に関しては行っておりません。

工場定期点検について

●ピッチングマシンは使用開始後、2 ～ 3 年経過毎に必ず工場定期点検〈有料〉が必要となっております。

工場定期点検では未然に故障・事故の発生を防止し、常に良い状態で安全にご使用いただく為に各部品の点検・調整を行います。

工場定期点検は工場到着後約 10 日間（実働）で完了いたします。別途部品交換〈有料〉が必要な場合は最大約 14 日（実働）が追加で必要になります。（時期によっては異なる場合があります。）

※商品のご持参、お持ち帰りの交通費、また、送付される場合の送料、梱包費、その他の諸掛り費用はお客様のご負担となります。（適切な梱包の上、ご送付ください。）ご返送の場合も同様にお客様のご負担となります。

ご不明な点がございましたら、ご購入された販売店様にご相談ください。

☆商品の仕様は予告なく変更・改良する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

MEMO

[illegible]

製造元



本社 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目6番12号 TEL.(06) 6552-8247
松阪工場 〒515-0041 三重県松阪市上川町長楽3456-2 TEL.(0598) 28-6669

<http://www.toa-sports-machine.co.jp>

23.01 05 02
19.02 05 02
18.03 05 02
17.07 05 02

Printed in Japan